



# めざせ年間読書冊数一五〇冊！

## 田野畑村立沼袋小学校PTA

沼袋小は、児童数20名、PTA会員16名の小規模校です。それに応じて賢く、そしてたくましく成長しています。沼袋小PTAの三専門部

一委員会の中から、指導・広報部の活動を紹介します。感想文集の刊行を長年続けるなど、児童の読書活動を推進しています。それは、保護者自身の楽しみでもあります。



学校の国語指導、朝読書や音読集会と連携した活動にもなっています。それは、月に一度行うブックワールドです。

学校図書館新刊書、児童にぜひ読ませたい本などを村の図書館から借りてきて読み聞かせをする活動です。昨年度までは、読書ボランティアを募集する体制でしたが、今年度は、PTA会員全員で積極的に読み聞かせに取り組むことにしました。

音読に自信がない人は、村内の読み聞かせグループ「ぐるんば」や先生方の読み聞かせのお世話から始め、少しずつ読み聞かせを学んでいこうと考えています。

## 学校・家庭・地域の連携をとおして「里の子」の健やかな成長を願って

### 奥州市立衣里小学校PTA

衣里小学校は、全校98名の小規模校ですが、学校と家庭と地域の連携・協力を密にし、子ども達の健全育成と教育環境の整備を目標に様々なPTA活動を行っています。その中から主なPTA活動についてご紹介いたします。

まず、総務部では、春と秋の二回、資源回収を行っています。今年の一回目は、

「沼小まなびフェスト」に、低学年目標年間70冊、中学年50冊、高学年30冊を掲げました。合計「めざせ年間読書冊数150冊！」です。昨年の多読者は、目標の四倍近くの読書量でした。保護者も、児童に負けぬようにたくさんの本を読みみたいのです。

沼袋小の児童や保護者がますます本と親しみ、本が大好きになるように活動していきたいです。(PTA会長 佐藤一弘)

なんと、ごみ収集車が二回往復しないと積みきれないくらいダンボールや新聞紙等が集まりました。これもひとえに、PTA会員だけでなく、地域の方々にもご協力いただいた賜物と感謝しています。

研修部では、「研修旅行」や「研修会」を行っています。今年の研修旅行は、釜石に行き、遊覧船や大観音



資源回収作業 (総務部)

を見学し交流を深め合いました。厚生部は、朝の五時半から行う早朝作業(年二回)と心肺蘇生法講習会があります。一回目の早朝作業では、学校周辺の雑草があつという間になくなり、気持ち良く学習する環境を作っていたできました。

補導部は、四月の交通安全教室のお手伝いや部会での情報交換を行っています。また、各学年PTAでは、子どもと親と教師がふれあいを深めるために、様々な行事が企画されています。現代は、単独で子育てをすることが難しい時代です。私たちは、「チーム衣里」として、学校、家庭、地域が、一丸となって、関わり合い、

連携・協力して、子ども達の成長を見守り支援していきたいと考えています。(PTA会長 園 博)

### 表紙「写真説明」

昨年、創立三十周年を迎えた本校は、PTAや地域と一体となって、活動しています。今年の運動会にもPTA種目「紅白玉入れ」が加わり、普段とは異なるお父さんお母さんの活躍の姿を見て子ども達は、大声援をおくっていました。

また、地域の協力で三、四年生が発表する「さんさ踊り」も定着しています。このように月が丘小学校PTAは子ども達の笑顔を楽しみに活動しています。(PTA会長 石戸 満)